

平成 27 年度第 4 回企画展

# はながのけしき

— 浮世絵・新版画・現代版画 —

11 月 10 日 (火) — 1 月 24 日 (日)

Part 1 / 11 月 10 日 (火) — 12 月 13 日 (日)

Part 2 / 12 月 15 日 (火) — 1 月 24 日 (日)

主催：静岡市東海道広重美術館

(指定管理者 NPO 法人ヘキサプロジェクト)

協力：沼津市教育委員会、モンミューゼ沼津、株式会社渡邊木版画美術画舗、YUKI-SIS

## 企画概要

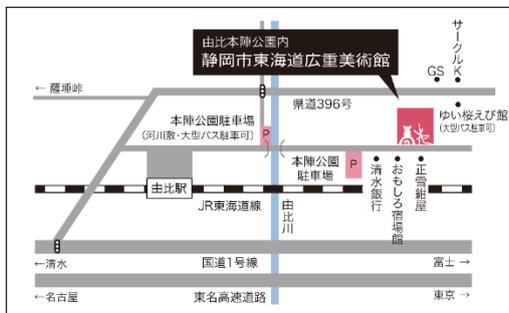
江戸時代、庶民に求められた浮世絵版画は、明治時代になり新しい印刷技術の発達や写真の登場によって木版画の需要が次第に減少し、必然的にその状況にあらがうために、表現や形態は時代とともに変容していきました。本展覧会では、名所絵師・歌川広重の浮世絵をはじめ、明治後期から浮世絵版画の技術再興と近代的表現を模索した「新版画」、従来の分業体制から脱却し「自画・自彫・自摺」などによって作家の芸術表現を高めようとした「創作版画」より展開した「現代版画」から、様々な風景木版画をご紹介します。江戸から現代までの時代を反映するバラエティ豊かな「はながのけしき」の様子をご堪能ください。

開館時間：午前 9 時～午後 5 時 (入館は閉館の 30 分前まで)

休館日：毎週月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始 [12 月 28 日 (月) — 1 月 4 日 (月)]

入館料：一般 510 円 (410 円) / 大学生・高校生 300 円 (240 円) / 中学生・小学生 120 円 (100 円)

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の 70 以上の方は無料 ※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料 ※ ( ) は 20 名以上の団体料金



交通案内

### 電車をご利用の場合

JR 東海道本線「由比」駅下車後 徒歩 25 分、タクシー 5 分

### お車をご利用の場合

美術館無料駐車場 21 台 (由比本陣公園駐車場)

#### ■大阪・名古屋方面から

東名高速【清水 I.C.】から国道 1 号經由約 20 分

#### ■東京・横浜方面から

東名高速【富士 I.C.】から国道 1 号經由約 25 分

本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

静岡市東海道広重美術館 〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp [facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

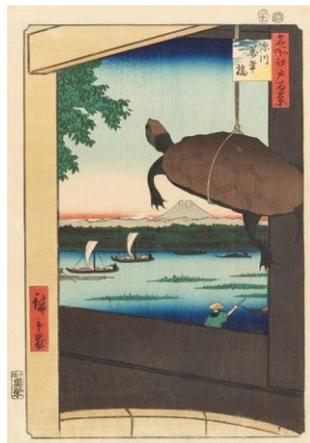
## 展覧会のみどころ

### ① 多彩な木版画の表現

「浮世絵版画」から「現代版画」に至るまで、日本の木版画はどのような歴史を歩んできたのでしょうか。「浮世絵版画」によって生まれた多色摺木版画の技の一部は、時代を経て「現代版画」、「創作版画」にも受け継がれ、様々な表現へ応用されていきました。「風景」という主題に限定しながら、多彩な木版画の表現の数々をご覧ください。



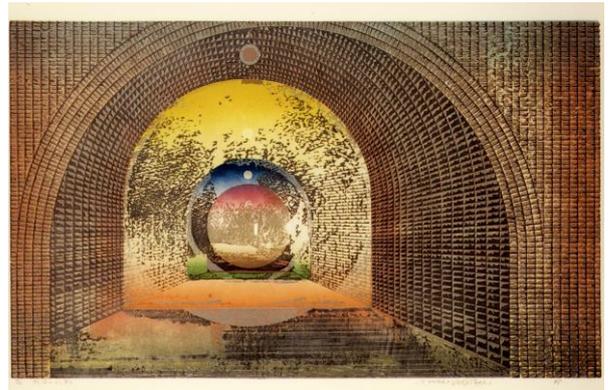
Part 1 展示作品  
川瀬巴水『日本橋（夜明）』  
株式会社渡邊木版美術画舗蔵



Part 2 展示作品  
歌川広重『名所江戸百景 深川万年橋』当館蔵

### ② 見比べ！ 広重と明治から現代の木版画

新版画の川瀬巴水は画題の選択だけでなく、晩年の広重が好んだ「近景拡大構図」など、広重からの影響が強く見受けられます。現代版画では自然物をそのまま版に利用した山口源や抽象表現を用いた前田守一、デジタルのドット等現代的な表現を取り入れた湯浅克俊といった、江戸時代ではあり得なかった木版画表現と浮世絵との見比べもお楽しみいただけます。



全会期展示作品  
前田守一『明治のトンネル』個人蔵

## 展示内容紹介

### 浮世絵版画と新版画—版元・絵師・彫師・摺師—

「浮世絵版画」は、版元主導のもと絵師・彫師・摺師の共同作業によって制作されました。浮世絵は明治後期に衰退の一途をたどりますが、それまでに発達した浮世絵の高い技術を活かし、水準の高い新しい時代の木版画制作を探究した「新版画」が明治時代後半に登場します。

### 創作版画から現代版画へ—自画・自刻・自摺—

「創作版画」は、木版画の制作工程を個人で行うことによって、より独創的で芸術性の高い作品の創造を目指した明治時代末に登場した版画です。版画の下絵から完成まで作家一人が手掛ける「自画・自刻・自摺」というスタイルは、現代の版画作家に引き継がれています。



全会期展示作品  
山口源『失題』沼津市蔵

### 関連企画／当館学芸員によるギャラリートーク

日時：Part 1 / 2015年11月29日（日）13：00～13：30  
Part 2 / 2016年1月10日（日）13：00～13：30

参加費：無料（館料別途）

※当日当館エントランスホールにお集まりください。（申し込み不要・定員制限無）

## 作家紹介

### 新版画

#### 川瀬巴水 かわせはすい

明治十六～昭和三十二年（1883～1957）

十代の少年期に日本画を学び、二十七歳の時に、日本画家の錦木清方に入門しました。渡邊庄三郎の元で版画を発表するのは三十五歳になってからのことで、叙情的な風景版画を数多く手掛けたことから「昭和の広重」とも称されます。新版画の代表的な画家の一人です。

#### 伊藤孝之 いたうたかし

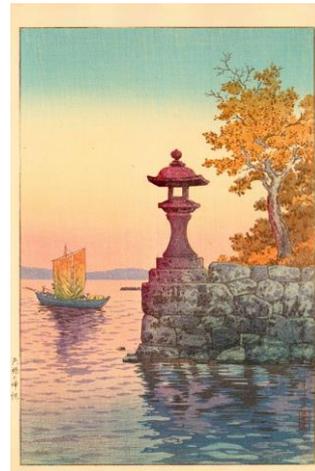
明治二十七～昭和五十七年（1898～1982）

静岡県浜松市の能書家の家に生まれました。幼い頃より絵を好み東京美術学校で日本画を学びながら渡邊庄三郎のもとで新版画を発表しました。新版画を制作する傍ら、自ら彫り・摺りを行った作品も手掛けました。

#### 土屋光逸 つちやこういつ

明治三～昭和二十四年（1870～1949）

静岡県浜松市の農家出身の画家。十六歳で「明治の広重」とも称された浮世絵師・小林清親の内弟子になり二十年近く師のもとで過ごしました。新版画の画家としては六十歳を過ぎてからの活躍が見られます。光逸の画号は師清親より与えられたものです。



Part 1 展示作品  
 土屋光逸  
 『近江八景 矢橋の帰帆』  
 株式会社渡邊木版美術画舗蔵

### 創作版画 現代版画

#### 山口源 やまぐちげん

明治二十九～昭和五十一年（1896～1976）

静岡県富士市生まれ。創作版画家の恩地孝四郎へ弟子入りを果たし、師の影響から抽象作品を制作しました。彼の作品の特徴である物体版画には、彼が発見した流木や実物の葉などの自然的あるいは偶然的な造形が多く利用されており、それらを組み合わせると必然的な造形を創り出しています。

#### 湯浅克俊 ゆあさかつとし

昭和五十三年（1978～）

東京都生まれ。自ら撮影したデジタル写真やインターネット上の報道写真といった現代的な図像を下絵に用いながら、伝統的な木版画の彫り・摺りの技術によって作品を制作しています。海外において、現代でも日本の木版画といえば「浮世絵」と認識されることが多い中、その立ち位置を認識しつつ新しい「版」の可能性を追求しています。

#### 前田守一 まえだもりかず

昭和七～平成十九年（1932～2007）

静岡県浜松市生まれ。昭和二十八年（1953）静岡出身の版画家山口源（やまぐちげん）と出会い版画の制作を始めました。版画家としての活動と並行し、昭和四十六年（1966）に静岡の作家達によって結成された「幻触（げんしよく）」で中心的な作家として活動しました。



全会期展示作品  
 湯浅克俊  
 『Whereof one cannot speak,  
 thereof one must be silent』  
 作家蔵

## 美術館概要

### 静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版画の揃物の名品を中心に約 1400 点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



三代歌川豊国『広重死絵』当館蔵

### 広重について

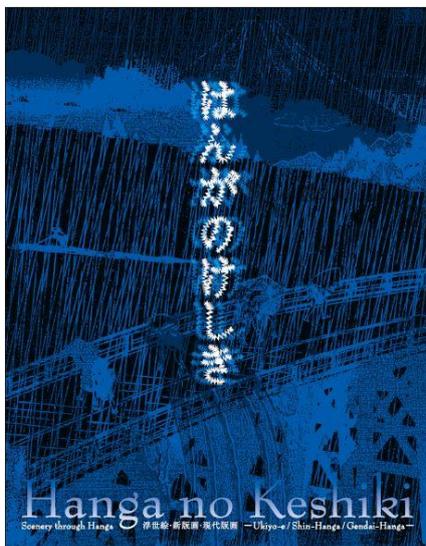
歌川広重（1797 - 1858） 浮世絵師

15 歳頃に歌川豊広に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ 62 歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与えています。

## 広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記 7 点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。

1



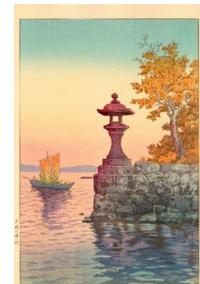
2



3



4



5



6



7



### □作品名およびクレジット

- |                |   |
|----------------|---|
| 1. 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art            |
| 2. 歌川広重        | 『名所江戸百景 深川万年橋』静岡市東海道広重美術館蔵                                |
| 3. 川瀬巴水        | 『日本橋（夜明）』株式会社渡邊木版美術画舗蔵                                    |
| 4. 土屋光逸        | 『近江八景 矢橋の帰帆』株式会社渡邊木版美術画舗蔵                                 |
| 5. 山口源         | 『失題』沼津市蔵  |
| 6. 前田守一        | 『明治のトンネル』個人蔵  |
| 7. 湯浅克俊        | 『Whereof one cannot speak, thereof one must be silent』作家蔵 |

### 〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際には、お手数ですが校正紙を E メール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただきますため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録の DVD、CD などお送りいただければ幸いです。

## 『はんがのけしき - 浮世絵・新版画・現代版画 - 』

## 広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1.  展覧会ポスターイメージ
2.  歌川広重 『名所江戸百景 深川萬年橋』
3.  川瀬巴水 『日本橋（夜明）』
4.  土屋光逸 『近江八景 矢橋の帰帆』
5.  山口源 『失題』
6.  前田守一 『明治のトンネル』
7.  湯浅克俊 『Whereof one cannot speak, thereof one must be silent』

貴社名：  

---

媒体名：  

---

ご担当者名：  

---

TEL：  

---

FAX：  

---

E-mail：  

---

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00~16:00  

---

掲載予定日（コーナー名）： 月 日  

---

## 〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただきます。後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp